



出前講座 多摩市の財政状況について ご案内 ～自治体財政の仕組みと多摩市の財政の現状～

私たち「多摩市の社会教育を考える」は昨年 2014 年 12 月 23 日に発足しました。地域の図書館がなくなってしまう、公民館も減らされる。児童館も、地区市民ホールも減らされてしまうという市からの提案が出され、これは大変だと市内各地で声があがりました。残してほしいという署名運動もはじまりました。ところでこれらの施設はみんな、私たちが学んでいくための大事な施設です。そこで私たちは、「多摩市の社会教育を考える会」をつくりました。そして多摩市の社会教育をもっとよくしていくために、さまざまな活動をしています。

この間、多摩市議会議員選挙での立候補予定者へのアンケート及び対話集会の実施（3-4 月）、学び合い育ち合い審議会への、関戸公民館・地域図書館・一部児童館廃止撤回のための再検討のお願い（3 月）と図書館協議会への地域図書館廃止撤回のための再検討のお願い（6 月）の文書での要請、「私の街」フェスティバルへの参加（7 月 26 日朗読劇、紙芝居、三つの語り等）、永山フェスティバルへの参加（9 月 19-20 日参加型も含む展示）等、市民の学びを支える社会教育施設の重要性について訴え、市政に働きかけ、市民に、当会及び関連団体（豊ヶ丘、東寺方、聖ヶ丘、唐木田各地区の複合館または図書館の存続・存続を考える会）の活動紹介なども行ってきました。

ところで私たちはこの度、多摩市の「出前講座」制度を活用し、多摩市企画政策部財政課にお願いして、以下のように、多摩市の財政の仕組みと現状について学ぶ、学習会を行うことにしました。

「多摩市の社会教育を考える会」のメンバーはもとより、自治体施策に関わる問題について活動・運動されている方などで、私たちと同じように、自治体の財政の仕組み、多摩市の財政の現状を基礎から学びたいと考えている方は、行政の担当者のお力を借りて学ぶことのできるよい機会ですので、どうぞご参加ください。

多摩市の社会教育を考える会 問い合わせ 荒井容子 yarai@hosei.ac.jp
安室君子 電話・FAX 042-373-8258

出前講座 多摩市の財政状況について

～自治体財政の仕組みと多摩市の財政の現状～

日時 2015 年 10 月 4 日（日）13:00～15:00
場所 多摩市立関戸公民館 第 1 学習室
講師 多摩市企画政策部 財政課長
参加方法 先着 40 名まで

※施設使用料、案内印刷費用等の関係で、カンパ一口 100 円（何口でも可）をお願いします。